



第45代理事長
片倉 庸光

- 副理事長
望月 昭夫
大木 一浩
櫻井 幸広
- 専務理事
柳田 祐介
- 事務局長
大島 隆則
- まち夢室長
大熊 学
- ひと魅力室長
黒川 富由
- 未来ビジョン委員長
斎藤 正行
- 起業家研修委員長
芝宮 市昭
- 会員交流委員長
新井 聡
- 文化財パトロール隊長
秋山 成之
- マラソン大会実行委員長
江原 正樹
- 監事
堀江 守義
表 真司
- 特別理事
松村 毅

スローガン
**大局を見つめ
明るく行動しよう**

○会員数 86名
○年会費 120,000円

創立40周年以降、足利のまちもJCも新時代への過渡期にあると意識し、前年度金井理事長の「足利JC内部強化路線」を継承した。この年は特に「組織と個人」を重要項目として、全会員で青年会議所運動を考える機会を数多く設けた。その土台づくりのため3委員会のスリムな組織図で理事定数を削減し、年間13回の総会例会のうち9回を執行部担当とした。

対外的にはまちづくり運動の仲間を増やす新たな試みとして、政府との共催による「タウンミーティング」や、学校跡地で若い世代の親子を対象に「学校へ行こう」を開催した。川越JCや茅ヶ崎JCとの交流は、足利にない運動の視点を教えてくれた。足利尊氏公マラソン大会は谷川真理選手をゲストに迎え、足利文化財パトロール隊も隊員数が大幅に増えた。両毛6JCの合同例会とRYOMO CUPが足利開催となる等、賑やかな1年であった。

対内的には、三役担当特別事業の実施、13名入会した新人の育成、ホームページや電子会議の有効利用、スポーツ部会設置、勝浦JC交流30周年事業、初めての定款変更等が特筆される。年間を通して議論も多かったが、その議論こそ45周年で新時代を迎えるための使命でもあった。



足利JCの主な出来事

- ◆例会「魅力ある花を咲かせるために～サッカー人生からのヒント～」
講師 加藤久氏
(スポーツパーソナリティ)
- ◆小泉内閣の国民対話
「タウンミーティング イン 足利」共催
- ◆例会「学校へ行こう～学び舎で体験できるまちづくり～」
- ◆例会「大局を見つめて 未来形を語ろう～継続事業座談会～」
- ◆30年ぶりの定款変更



足利市の主な出来事

- ◆緑橋左岸土地地区画整理事業が完成
- ◆東武足利市駅北口に風車のモニュメントが完成
- ◆地域振興整備公団が足利北部産業基盤団地を事業採択
- ◆御厨公民館が新しく完成
- ◆社会福祉協議会と社会事業協会が合併



市制80周年記念事業として設置される

この年の代表的なニュース

- ◆初の日朝首脳会談／拉致被害者5人帰国
- ◆W杯で日本躍進
- ◆ノーベル賞初W受賞
- ◆牛肉偽装や食品不正表示
- ◆国連のイラク査察再開
- ◆世界同時株安

- ☆流行語
「タマちゃん」、「W杯(中津江村)」、「貸し剥がし」、「ムネオハウス」
- ☆流行歌
・H(浜崎あゆみ)
・ワダツミの木(元ちとせ)